

授業改善推進中期プラン 算数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立中神小学校

学年等		項 目	内 容
令和5年度 第4学年	令和5年10月	学習に関する児童の実態・課題	○小数や分数の仕組みや計算方法を理解している児童が多い。 ▲図形の特性を活用して問題解決したり、文章問題を読み取って立式したりすることが難しい児童がいる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・基礎的な知識を活用して問題の意味を理解し、学習したことを生かして自分なりに解決方法を見いだし、解決できる力。
		具体的な授業改善の方策	・図形に関する問題では、絵や具体物で示すなどして問題文の場面を捉えやすくするとともに、問題の解決場面では、言葉、図、式を関連付けて考えさせる。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	・数の仕組みを理解している児童が増え、文章問題を読み取って立式する力が高まってきている。 ・基礎的な知識を日常場面で活用する力を高められるよう、問題場面の設定を吟味して提示する必要がある。
令和6年度 第5学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	○既習の計算技能の高まりが見られ、問題に諦めずに取り組もうとする姿勢が見られる。 ▲図や問題文の読み取りに課題があり、問題場面がイメージすることが難しい。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・授業で培った知識及び技能を確実に使うことができる力及び未知の問題を解決しようとする力。
		具体的な授業改善の方策	・適応問題の時間を十分に確保し、基礎的な知識技能を確実に使えるようにする。 ・「問題文の数字に印を付ける」、「図を用いて視覚的な理解を促す」など既習事項と結び付けて考えさせる。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○新しい課題場面においても、問題に前向きに取り組む、諦めずに取り組もうとする姿勢が芽生えてきた。 ▲図や問題文の読み取りに課題が残り、問題場面を図などで表して整理する必要がある。
令和7年度 第6学年	令和7年10月	学習に関する児童の実態・課題	○様々な学習に前向きに取り組むことができ、友達と考えを交流しながら考えを広げたり高めたりすることができている。 ▲学び合いからだけでなく、自己の力だけをもって考えを広げたり深めたりしていくことについては、現時点で課題として残っている。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・新しい課題に対して、既習事項を活用し、自分なりの考えをもつことができる力。
		具体的な授業改善の方策	・問題を適切に読み取り、自分の考えをもつ時間を確保するとともに、児童の実態に応じて様々な角度から改題解決に向き合わせることで既習事項を適切に活用する場面を設定する。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	○「基礎・基本」の習熟を図るためには、暗記や反復練習ばかりでなく、問題解決的な学習が有効であることが明らかになった。 ・上記の実現のため、中学校入学時に「入学時テスト」（小学校作成）を実施し、それをもとに中学校における効果的な実践を行えるようにし、連携して校内研究を進めていく。